

2 ロジックモデル

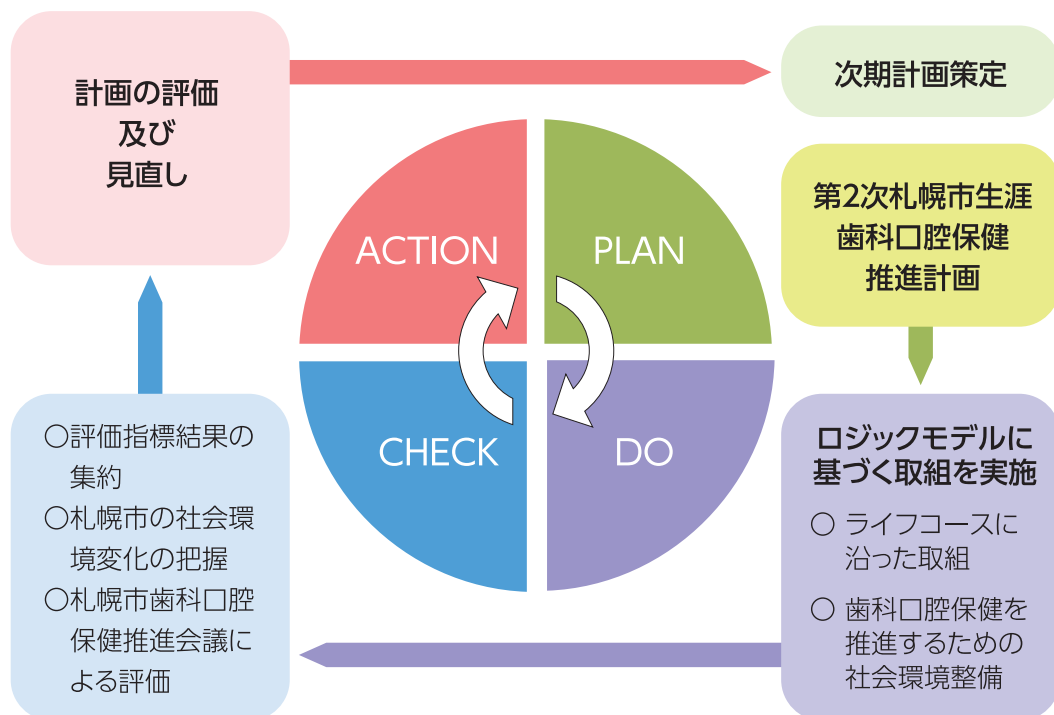
ロジックモデルとは、事業が最終的に目指す目的の実現に向けた設計図の役割を果たします。PDCA サイクルに基づく保健事業を推進する際にも、ロジックモデルを踏まえた対策を行うことによって効率的に進めることができます。

ロジックモデルの活用は、科学的エビデンスに基づく保健医療対策において、特に大きく役立つものです。国においても、第8次医療計画、健康日本21(第三次)、歯科口腔保健の推進に関する基本的事項(第二次)、がん対策推進計画等の諸施策に、ロジックモデルが活用されています。

より良い成果(アウトカム)を得るためには、段階を踏んだ様々なアプローチが必要です。第一ステップ「人的・財的資源の投入(インプット/ストラクチャー)」、第二ステップ「保健事業の経過把握(プロセス)」、第三ステップ「保健事業の実施量(アウトプット)」といった3つの段階を経て、最終ゴールである「保健事業の成果」に体系的につなげていく一連の過程がロジックモデルです。

今回、第2次札幌市生涯歯科口腔保健推進計画(前期計画)の策定においてもロジックモデルを活用しました。最終ゴールに向けたルートを確認したうえで、札幌市の課題を踏まえた評価指標や取組方針等を取りまとめました。

第2次札幌市生涯歯科口腔保健推進計画における PDCA サイクル



第2次札幌市生涯歯科口腔保健推進計画におけるロジックモデル

